

教育研究上の基礎的な情報

(1) 研究科、専攻の名称及び教育研究上の目的

研究科、専攻の名称（平成30年5月1日現在）

研究科	専攻
人間科学研究科	心理臨床学専攻

研究科、専攻の教育研究上の目的（平成30年5月1日現在）

本学大学院は、カトリック精神に基づき、広い視野に立って、精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養い、地域と世界に貢献しうる有能な人物を育成するとともに人類の平和及び文化と福祉の発展に寄与することを目的とする。

人間科学研究科心理臨床学専攻では、より高度な専門的知識を身につけた心理臨床の専門職業人を育成し、多様な分野での課題解決に必要とされている臨床心理士等の人材を育成することを目的としている。

(2) 専任教員数

専任教員数（平成30年5月1日現在）

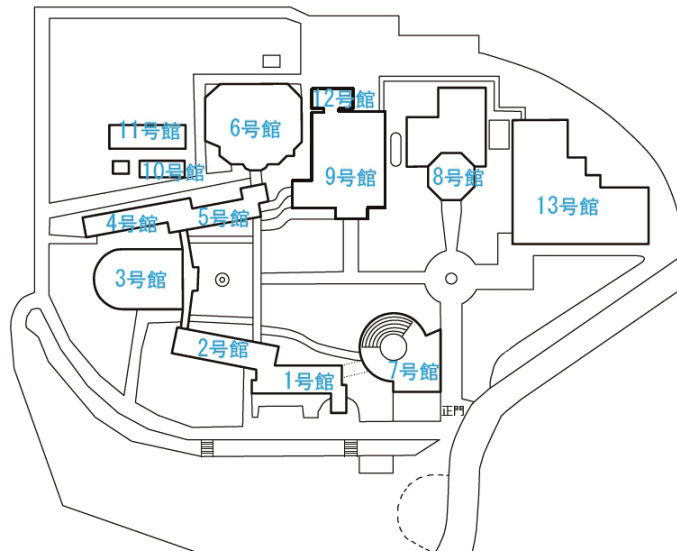
男性	女性	計
4	7	11

(3) 校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境

（キャンパス概要、運動施設概要及びその他の学習環境、主な交通手段）

キャンパス概要（平成30年5月1日現在）

所在地：鹿児島県薩摩川内市天辰町 2365 番地 せんだい あまたつ 校地面積：98825 m² 校舎総面積：21630 m²
 ※校舎総面積に体育館、講堂等(大学設置基準第36条第5項参照)は含まない。



校舎の名称	主な教育研究環境
1号館 管理棟	事務室、こども英語教育教材開発室
2号館 ゼミ・研究棟	進路支援課、教員養成センター、保健室、学生相談室
3号館 附属図書館	開架図書室、試験対策室、AV室、グループ学習室、学園創立者シスター江角ヤス記念展示室(純心創立のこころ)
4号館 実習棟	生物化学実験室、食品加工実習室、微生物実験室、共同実験室化学系、保健実習室、看護実習室、母性看護実習室
5号館 講義棟	普通講義室、小講義室、中講義室、看護演習室
6号館 体育館	アリーナ、トレーニングホール、部室
7号館 学生ホール	カフェテリア(純大フェリシア)
8号館 聖堂	礼拝堂
9号館 江角記念ホール	オーディオルーム、給食経営管理実習食堂、ラウンジ、セミナー室、江角講堂、学生活動室、語学実習室
10号館 動物舎	動物舎、実験室、薬品室
11号館 臨床栄養実習・生理学実験棟	生理学実験室、臨床栄養実習室
12号館 給食経営管理実習棟	給食経営管理実習室
13号館 サンタマリア館	博物館、礼法室、PC教室、情報ゼミ室、ICT講義室、こども学演習室、音楽室兼講義室、ピアノ室、ピアノ練習室、デザイン室、小児保健実習室、心理実験室、こども総合実習室、被服製作実習室、栄養教育実習室、学生会室、大学院(大学院生研究室、資料室、講義室兼会議室)、心理臨床相談センター(相談室、プレイルーム、心理査定室、ケースカンファレンス室、スーパービジョン室、資料室、研修員室)

運動施設の概要 (平成30年5月1日現在)

6号館(体育館)はバスケットボールコート2面分の広さである。

1階総面積: 1892.28㎡ 2階総面積: 478.58㎡

休息を行う環境 (平成30年5月1日現在)

9号館(江角記念ホール)1階のラウンジ、7号館(カフェテリア)等が主に使用されている。

課外活動の状況及び活動施設 (平成30年5月1日現在)

大学院生の活動団体(部・同好会)及び活動施設共に該当なし

主な交通手段 (平成30年5月1日現在)

大学院生の主な交通手段は、自家用車が42.9%、高速バスが28.6%を占め、次いで鉄道、自転車の順となっている。



(4) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用

授業料、入学料等の初年度納付金（平成 30 年 5 月 1 日現在）

費目	金額	備考
入学検定料	30,000	出願時徴収
入学金	150,000	入学時徴収
授業料	550,000	前期及び後期の 2 期に分けて徴収
実験実習料	50,000	前期及び後期の 2 期に分けて徴収
教育充実費	70,000	前期及び後期の 2 期に分けて徴収
図書館費	30,000	前期及び後期の 2 期に分けて徴収
初年度納付金の合計	850,000	

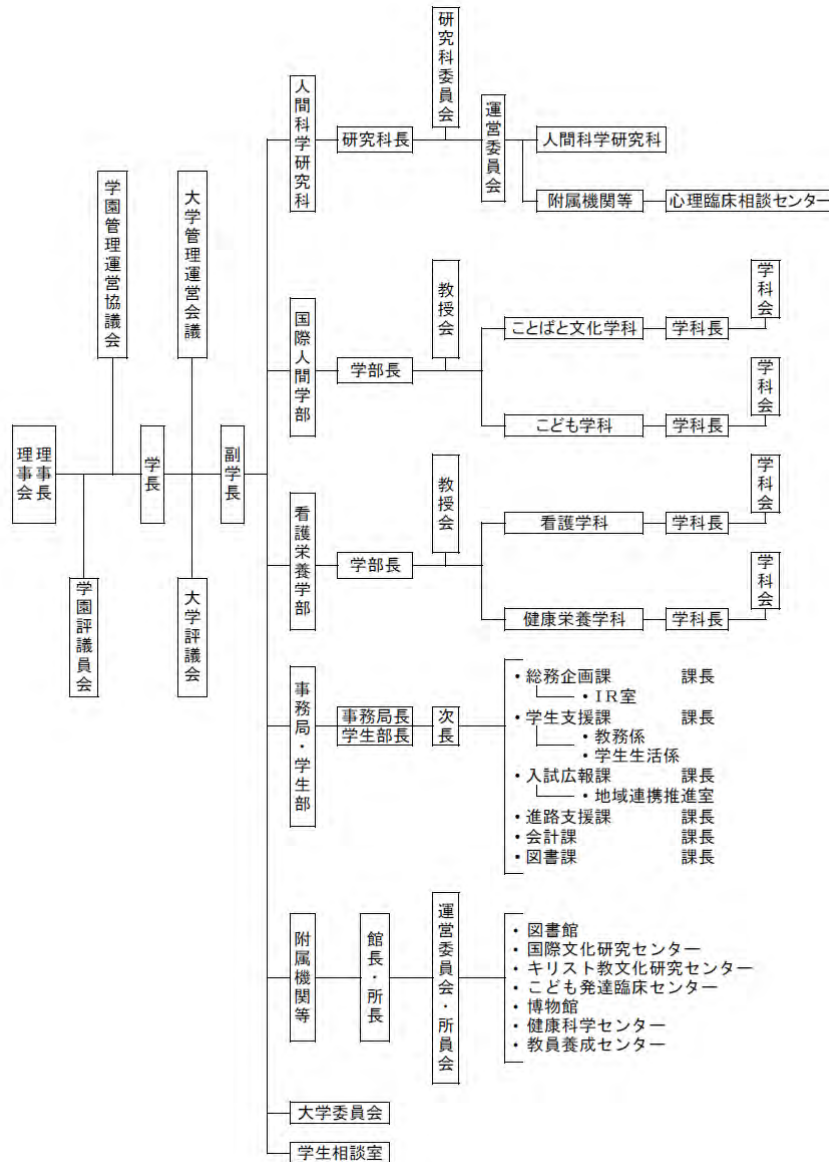
その他の徴収費用（平成 30 年 5 月 1 日現在）

費目	金額	備考
学生教育研究災害傷害保険	1,750	入学初年度のみ徴収
学生教育研究賠償責任保険	680	入学初年度のみ徴収

修学上の情報

(1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績

組織機構図（平成30年5月1日現在）



注1 教授会……学校教育法第93条で置くこととされている教授会は、大学院「研究科委員会」及び各学部「教授会」とする。
 注2 大学評議会……学則第7条で置かれる学長の諮問機関である。

各教員が有する学位及び業績（平成30年5月1日現在）

大学院の専任教員（11名）についての情報を掲載 [【次頁参照】](#)

教員情報

藤田 千鶴子 (FUJITA Chizuko) ※ 臨床心理士	
所属	国際人間学部 こども学科、大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授 / 国際人間学部長、人間科学研究科長
有する学位	学術博士
学位取得大学	カナダ・アルバータ大学大学院
主な担当科目	[学部] 知的障害のあるこどものカウンセリング [大学院] 心理実践実習
専門分野	臨床教育学 研究方法論
主な研究テーマ	質的研究方法論、「物語る」ことの認識論的系譜 心理臨床学における現象学的アプローチの可能性
学会・社会活動	日本教育心理学会 日本心理臨床学会 日本保育学会 スクール・カウンセラー
主な業績 (教育・研究等)	「保育者の気づき」 「保育心理学Ⅱ」第2部第5章 東京書籍 「『みる』」ことから始めるこども学—こども支援の基礎的体験学習」全国保育士養成協議会第45回研究大会論文集 「学校臨床再考—量的研究・質的研究・臨床現場、それぞれの知見から—」日本心理臨床学会第29回秋季大会自主シンポジウム 「『連携』と『協同』の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題」鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第7号 「心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献の可能性—個別性と普遍性に着目して—」鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号
学生へのメッセージ	さまざまな個性を持つこどもたちを理解し、保育、教育や臨床の場面での支援の方法に関心のある皆さん、一緒に考えましょう。

教員情報

餅原 尚子 (MOCHIHARA Takako) ※ 臨床心理士	
所属	国際人間学部 こども学科、大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授 / 大学院心理臨床相談センター長
有する学位	文学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院人文科学研究科
主な担当科目	[学部] 臨床心理学、個と向き合う心理学、特別支援教育実習等 [大学院] 臨床心理学特論、臨床心理面接特論、臨床心理査定演習等
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	トラウマ (PTSD、CIS)、発達障害、情緒障害、精神障害、人格障害等の心理査定、心理面接に関する研究
学会・社会活動	<学会> 日本心理臨床学会・日本ロールシャッハ学会 日本人間性心理学会・日本児童青年精神医学会 など <社会的活動> 鹿児島地方労働審議会委員/鹿児島労働局発達障害者専門指導監/ 鹿児島県社会福祉審議会委員/鹿児島県教育支援委員会委員/ かごしま犯罪被害者支援センター理事など
主な業績 (教育・研究等)	<学術論文> ・性的虐待 (レイプ、セクハラ・ストーカー) により、PTSD 症状を呈した 2 症例のロールシャッハ反応(査読付 2001) ロールシャッハ研究第 5 巻 (日本ロールシャッハ学会) p53~66 ・性犯罪被害による PTSD の事例へのカウンセリング~信頼の絆が結ばれるまで~ (査読付 2003) カウンセリング研究、第 36 巻、(日本カウンセリング学会) p437~445 ・救援者のストレス (PTSD、CIS) の予防とケアに関する臨床心理学的研究 (2005) 平成 15~17 年度科学研究費補助金 (若手研究 B) 報告書 ・ある発達障害児への児童中心遊戯療法の過程~発達の变化に視点をあてて~ (2008) 鹿児島純心女子大学心理臨床相談センター紀要第 3 号 P19~26 ・ロールシャッハ・テスト後に急速な回復を見せた PTSD の 2 事例 (査読付 2015) ロールシャッハ研究第 19 巻 (日本ロールシャッハ学会) p1~10 他 76 編 <著書 (共著) > ・新臨床心理学 (2004) 橋口英俊・滝口俊子編著、八千代出版 など <外部資金> ・平成 15 年~17 年 (科研費)、平成 17 年~19 年 (学術研究振興資金)、平成 20 年~22 年 (科研費)、平成 23~25 年 (科研費)、平成 26 年~28 年 (科研費)、平成 29 年~31 年 (科研費) KAKEN: http://kaken.nii.ac.jp/d/r/70352474.en.html
学生へのメッセージ	病み、悩み、障害のある方々への心理面接 (カウンセリング) を通して、その方々の心を、多くのおみなさんにお伝えできたらと思っています。人としての「自由と責任」を深く感じつつ、みなさんと一緒に成長していきましょう。

教員情報

福田 みのり (FUKUDA Minori) ※ 臨床心理士	
所属	国際人間学部 こども学科、大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	准教授
有する学位	教育学修士
学位取得大学	京都大学大学院教育学研究科教育科学専攻
主な担当科目	[学部] 発達と教育、こころの発達 [大学院] 臨床心理学研究法特論
専門分野	子ども臨床・教育心理学・発達心理学
主な研究テーマ	子どもが相談しやすい相談援助のあり方
学会・社会活動	日本教育心理学会・日本発達心理学会・日本心理臨床学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「遊戯療法」「心理劇」(2010) 加藤伸司・山口利勝(編著) 社会福祉士養成テキストブック 21 『心理学理論と心理的支援』 ミネルヴァ書房 ・「子どもの相談・援助システムの固有性に関する研究の展望」(2008) 山口福祉文化大学研究紀要 第1巻第1号 pp.83-90 ・「子どもが安心して相談できるしくみ —解決主体としての立ち直り支援」(2013) 子どもの権利研究 第22号 pp.19-23 ・特集 子どもの権利条約 20年の成果と課題「スクールカウンセリング・心理領域」(2014) 季刊教育法 第183号 pp.71-75
学生へのメッセージ	<p>私たちが生きていく上で自分(という人)も含めた人との関わりは避けて通れません。大学生活の中で、学びの基礎となる知識や技術を身に付けることはもちろんのこと、自己を見つめ、仲間とかかわり、自分自身が心豊かにこれからの生活を送ることができるような礎を築いていってほしいと思います。</p> <p>人間に興味がある皆さん、一緒に学びましょう!</p>

教員情報

成願 めぐみ (JOGAN Megumi) ※ 臨床心理士	
所属	国際人間学部 こども学科、大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	講師
有する学位	修士 (心理臨床学) 修士 (言語・文化)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科 清泉女子大学大学院人文科学研究科
主な担当科目	[大学院] 臨床心理基礎実習、精神分析療法特論、特別研究
専門分野	心理臨床学
主な研究テーマ	パーソナリティ障害、ロールシャッハ・テスト、箱庭療法
学会・社会活動	日本心理臨床学会 日本ロールシャッハ学会
主な業績 (教育・研究等)	論文： 「トラウマを抱えた少女の「再生」の歩み—イメージ (心象) による回復の過程—」他。
学生へのメッセージ	過去を振り返って、学び、未来を考え、向上することは、共にとても大切なことです。更に、今、ここにある自分の存在に気づき、この現実を生きること、この視点があつてこそ、過去の学びと未来への準備が本当の意味を持つのだと思います。現実を生きるとは、時には厳しさが伴いますが、生きるよろこびを味わうことができるのも現実だと思います。ぜひ人生の本当のよろこびを味わってください。

教員情報

<p>仲 沙織 (NAKA Saori) ※ 臨床心理士</p>	
所属	国際人間学部 こども学科、大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	講師
有する学位	博士 (臨床心理学)
学位取得大学	福岡大学大学院人文科学研究科教育・臨床心理専攻博士課程後期
主な担当科目	[学部] 心理学、基礎心理学、幼児理解の理論と方法 [大学院] 臨床心理学研究法特論、臨床心理実習、臨床心理地域援助特論
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	精神科アウトリーチにおける臨床心理学的地域援助に関する研究 多職種協働に関する研究
学会・社会活動	<学会> 日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本保健福祉学会、日本病院・地域精神医学会 など 日本心理臨床学会広報誌「心理臨床の広場」編集委員
主な業績 (教育・研究等)	<論文> 米国・英国における地域精神医療のあゆみー臨床心理士の役割に注目してー (2014) 福岡大学臨床心理学研究、第 13 巻、p3-10. 我が国における地域精神医療のあゆみー臨床心理士の役割に注目してー (2014) 福岡大学臨床心理学研究、第 13 巻、p11-18. 「包括型地域生活支援プログラム」従事者が心理職に求めることーあるチームの半構造化面接からー (2015) 福岡大学大学院論集、第 47 巻第 1 号、p33-51. 「包括型地域支援プログラム」における臨床心理士の役割と今後の課題ー半構造化面接の分析からー (2015) 福岡大学臨床心理学研究、第 14 巻、p17-23. 「包括型地域生活支援プログラム」従事者が心理職に求めることー質問紙調査を用いてー (2016) 病院・地域精神医学、第 58 巻第 3 号、p277-285. アウトリーチサービス利用者のニーズから見た心理職の可能性の検討 (2016) 日本保健福祉学会誌、第 23 巻第 1 号、p65-72. など
学生へのメッセージ	見つめたり触ったりはできないけれど、確かに私たちの中に“こころ”は存在していますね。人と人との関わりのなかで、様々に揺れるこころを理解し、どのように援助していくことができるのか、共に学び、高め合っていきましょう。

教員情報

中村 誠文 (NAKAMURA Masafumi) ※ 臨床心理士	
所属	国際人間学部 こども学科、大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	講師
有する学位	心理臨床学修士
学位取得大学	鹿児島純心女子大学大学院
主な担当科目	[学部] 人間関係論、こころの発達Ⅲ、心理学基礎実験、家族心理学 [大学院] 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と方法
専門分野	臨床心理学 家族療法・短期療法
主な研究テーマ	不登校支援における心理臨床家の役割に関する研究 シングル・セッションに関する研究 心理臨床における「連携」と「協働」に関する研究
学会・社会活動	日本心理臨床学会 家族心理学会 鹿児島精神神経学会 九州心理学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「連携」と「協働」の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第7号 (共著) ・心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献への可能性—個別性と普遍性に注目して— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号 (共著) ・教育現場における心理臨床家の役割—教員への不登校支援に視点をあてたアンケート調査から— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号 ・拘束と記述から得られるもの—ペイトソンの認識論から— International Journal of Brief Therapy and Family Science (I.J.B.F.) Vol. 5, No. 1 (共著) ・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーによる連携・協働に関する—考察 鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要第8号 <p>など</p>
学生へのメッセージ	様々な個性をもつ子どもへの理解、みため、支援について「想像力と創造力」を働かせながら、一緒に考えていきましょう。

教員情報

山本 英次 (YAMAMOTO Eiji)	
所属	看護栄養学部 看護学科、大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授
有する学位	医学博士
学位取得大学	鹿児島大学医学部
主な担当科目	[学部] 生活調整援助論(病態編)、こども成育論 [大学院] 小児医学特論
専門分野	小児循環器病学 小児科学
主な研究テーマ	看護教育における病態生理の理解度の向上に関する研究
学会・社会活動	所属学会：日本小児科学会 日本小児循環器学会 社会活動：鹿児島市学校心臓検診協力医
主な業績 (教育・研究等)	1) 臨地実習における感染防止対策—麻疹・風疹・ムンプス・水痘の抗体保有率 2) ACLS 対応のステップアップ学習～学習プログラムの概要ならびに1年目の報告 3) ACLS 対応のステップアップ学習～2年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告 4) ACLS 対応のステップアップ学習～3年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告 5) ACLS 対応のステップアップ学習～4年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告
学生へのメッセージ	病態生理の理解には、解剖生理に対する十分な理解が欠かせない。 臨床に繋げながら学習することが大切である。

教員情報

岩田 真一 (IWATA shin-ichi)	
所属	看護栄養学部健康栄養学科、大学院人間科学研究科心理臨床学専攻
職名	教授
有する学位	医学博士
学位取得大学	鹿児島大学医学部
主な担当科目	〔学部〕 医療概論、解剖生理学、看護薬理学 〔大学院〕 精神薬理学特論
専門分野	神経内科、薬理学
主な研究テーマ	パーキンソン病
学会・社会活動	神経内科専門医（指導医） 日本薬理学会学術評議員 日本神経精神薬理学会評議員 総合内科専門医
主な業績 (教育・研究等)	Parkinson 病の痛み. 神経内科 66 : 94-97, 2007. Delayed L-DOPA-induced hyperalgesia. Pharmacol. Biochem. Behav. 85: 643-647, 2006. Administration of haloperidol and biperiden reduces mRNAs related to the ubiquitin-proteasome system in mice. Synapse 56: 175-184, 2005. Antinociceptive mechanism of L-DOPA. Pain 110: 246-249, 2004. Gene expression profiling in the midbrain of striatal 6-hydroxy-dopamine-injected mice. Synapse 51: 279-286, 2004.
学生へのメッセージ	有意義な学生生活を送ってください。

教員情報

口岩 俊子 (KUCHIIWA Toshiko)	
所属	国際人間学部 こども学科、大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授
有する学位	医学博士
学位取得大学	弘前大学大学院医学研究科博士課程
主な担当科目	[学部] 人体探検科学、小児保健 [大学院] 神経学特論
専門分野	脳科学、神経解剖学
主な研究テーマ	実験動物における鬱症状の定量的評価の試み ダイオキシン胎盤・母乳暴露による脳への影響について
学会・社会活動	日本神経科学会、日本解剖学会、日本薬理学会
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation of aggressiveness of female mice using a semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior toward an inanimate object. Toshiko Kuchiiwa & Satoshi Kuchiiwa Neurosci Meth., 257(2016)179-184. 2. A novel semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior in mice. Satoshi Kuchiiwa & Toshiko Kuchiiwa Neurosci Meth., 228(2014)27-34. 3. 頭頸部の自律神経 口岩 聡、口岩 俊子 JOHNS,30(2014)1403-1407 4. 光を見るとくしゃみが出るのはなぜですか？ 口岩 聡、口岩 俊子 Clinical Neurosci., 33(2015)479 5. 特許第4858996号 【発明の名称】 刺激応答計測装置および刺激応答計測方法 【日本国登録日】 2011年11月11日
学生へのメッセージ	いつも周りに興味を持ち、色々なことに挑戦する心を無くさないでください。 チャンスは自分で掴み取るものです。

教員情報

小島 摩文 (KOJIMA Mabumi)	
所属	国際人間学部 こども学科、大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授 / 博物館長
有する学位	文学修士
学位取得大学	総合研究大学院大学博士後期課程
主な担当科目	[学部] 民俗学、こども文化概論、博物館情報・メディア論 [大学院] 文化人類学特論
専門分野	民俗学、民具学、博物館学
主な研究テーマ	民具研究、物質文化研究、 馬と人の関わり
学会・社会活動	日本民俗学会評議員、日本民具学会会員、日本文化人類学会会員 鹿児島民俗学会会員、鹿児島民具学会会員、比較民俗学会会員 日本生活科・総合的学習教育学会
主な業績 (教育・研究等)	「馬」『図録 メコンの世界-歴史と生態-』秋道智彌編 弘文堂 2007 「塩と茶の交易史」(共著)『地域の生態史 [モンスーンアジアの生態史第2巻]』ダニエルス・クリスチャン編 弘文堂 2008 弘文堂 (2008/5/16) 「在宅と外在化」『死の儀法-在宅死に見る葬の礼節・死生観』近藤功行編 ミネルバ書房 2008 04 「民具学としての物質文化研究」『国際常民文化研究叢書3』神奈川大学 国際常民文化研究機構 2013 「アチックフィルムにみる民具」『国際常民文化研究叢書10』神奈川大学 国際常民文化研究機構 2015 「馬具の種類と名称について-データベース化のための標準名を考える-」『神奈川大学 国際常民文化研究機構 年報 第5号』2015
学生へのメッセージ	講義だけでなく、さまざまな活動を通して楽しい学生生活に、いっしょにしていきましょう。

教員情報

井上 祐子 (INOUE Yuko)	
所属	国際人間学部 こども学科、大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	准教授
有する学位	博士（社会福祉学）
学位取得大学	同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了
主な担当科目	[学部] 保育実習、保育実践演習、保育内容（人間関係）の理論と方法 [大学院] 福祉行政総論
専門分野	ソーシャルワーク論（社会福祉援助技術）、社会福祉教育・実習、 高齢者福祉
主な研究テーマ	対人福祉サービスの構造化に関する研究 福祉・介護人材の職務体制の継続的サポートに関する研究
学会・社会活動	日本社会福祉学会、日本社会福祉士会、日本学校ソーシャルワーク学会、同志社大学社会福祉学会、日本社会福祉教育学会
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> • 「高齢者福祉施設生活相談員が必要と認知する対人福祉サービスの構造化」、井上祐子、『評論・社会科学』93、2010、pp.67-80. • 「Deci 理論を基礎とする高齢者福祉施設の生活相談員の職務満足度に関する検討」、井上祐子・黒木保博、『社会福祉学』51(4)、2011、pp.91-103. • 「保育者効力感に関する研究動向と課題」、井上祐子、『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』20、2014、pp.47-62. • 「高齢者を在宅介護する子育て世代への介護者支援に関する研究動向と課題」、井上祐子、『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』22、2016、pp.1-18. • 「生活困窮者自立支援法における就労支援の現状と課題」、井上祐子、『鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要』8、2016、pp. 45-52.
学生へのメッセージ	学生生活では、戸惑うことも悩むことも、たくさんあると思います。皆さんが懸命に考えて出す答えが、人と同じでなくても大丈夫です。自分と他者、お互いの個別性を尊重した関わりについて、一緒に学び、考えていけたらと思います。

(2) 入学者に関する受入方針、入学者数、収容定員、在学者数、修了者数、進学者数、就職者数

入学者に関する受入方針（平成 30 年 5 月 1 日現在）

人間科学研究科 心理臨床学専攻では、次のような人物を求める。（2018 年度 学生便覧から抜粋）

- (1) 心理臨床学のみならず、幅広い知識と教養（社会的常識）をもつ人
- (2) 他者の気持ちを想像し、場の雰囲気や状況をよみ、自らの意志や感情を表現し、相互に伝えあい、理解しあえる素養をもつ人
- (3) 心理臨床家として有為な存在となるべく、主体的で謙虚さをもった人

入学者数、収容定員、在学者数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
10	4	20	14

修了者数、就職者数、進学者数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

修了者数	就職希望者数	就職者数	進学者数
4	4	4	0

※修了者数は平成 30 年 3 月 31 日現在

(3) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画（シラバス又は年間授業計画の概要）

授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画（平成 30 年 5 月 1 日現在）

各科目の名称、授業形態、内容（展開計画）はシラバスに明示しており、学内外から参照可能である。

シラバス検索 (学部・大学院共通)	https://lcb.k-junshin.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearchDirect.do?nologin=on
----------------------	---

年間計画（平成 30 年 5 月 1 日現在）

年間計画（前・後期各曜日の授業回数、祝日・本学行事に伴う授業曜日変更を併記）を作成し、学生便覧に明示している。 **【次頁参照】**

平成30年度 年間計画 (大学院)

	日	月	火	水	木	金	土
4月	4/1	2	3	4	5 入学式 お慶賀(履修登録)	6 お慶賀(履修登録)	7 お慶賀(履修登録)
	8	9 前期開講 ①	10 ①	11 ①	12 ①	13 ①	14 ①
	15	16 ②	17 防災避難訓練 ②	18 ②	19 ②	20 ②	21 ②
	22	23 ③	24 ③	25 ③	26 ③	27 ③	28 体育祭
5月	29 昭和の日	30 振替休日	5/1 代休(海の日)	2 代休(9/24)	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日
	6	7 ④	8 交通安全教室 ④	9 ④	10 ④	11 ④	12 ③
	13	14 ⑤	15 学生総会 ⑤	16 ⑤	17 ⑤	18 ⑤	19 ④
	20	21 ⑥	22 ⑥	23 ⑥	24 ⑥	25 ⑥	26 後援会総会 学生生活懇談会 ⑤
6月	27	28 ⑦	29 ⑦	30 ⑦	31 ⑦	6/1 ⑦	2 ⑥
	3	4 ⑧	5 ⑧	6 ⑧	7 ⑧	8 ⑧	9 ⑦
	10	11 ⑨	12 防犯教室 ⑨	13 ⑨	14 ⑨	15 ⑨	16 ⑧
	17	18 ⑩	19 ⑩	20 ⑩	21 ⑩	22 ⑩	23 ⑨
	24	25 ⑪	26 ⑪	27 ⑪	28 ⑪	29 ⑪	30 ⑩
7月	7/1	2 ⑫	3 講演会 ⑫	4 ⑫	5 ⑫	6 ⑫	7 ⑪
	8	9 ⑬	10 ⑬	11 ⑬	12 ⑬	13 ⑬	14 ⑫
	15	16 平常授業、※ミニ キャン、(海の日) ⑭	17 ⑭	18 ⑭	19 ⑭	20 ⑭	21 ⑬
	22	23 ⑮	24 ⑮	25 ⑮	26 ⑮	27 ⑮	28 ⑭
8月	29	30 単位認定試験	31 単位認定試験	8/1 単位認定試験	2 単位認定試験	3 単位認定試験	4
	5 キャンパス見学会	6 夏季休業	7	8	9	10	11 山の日
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
9月	26 第2回ミニキャンパス 見学会	27	28	29	30	31	9/1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15 (入試)
	16	17 敬老の日	18	19 (履修登録)	20 (履修登録)	21	22
	23 秋分の日	24 後期開講 (振替休日) ①	25 ①	26 ①	27 ①	28 ①	29 ①
10月	30	10/1 ②	2 ②	3 ②	4 ②	5 ②	6 ②
	7	8 体育の日	9 ③	10 ③	11 ③	12 ③	13 ③
	14	15 ④	16 ④	17 ④	18 ④	19 ④	20 ④
	21	22 ⑤	23 ⑤	24 ⑤	25 ⑤	26 ⑤	27 ⑤
11月	28 リノベーション センター公開講座	29 代休(10/28)	30 金曜日授業 *⑤	31 学内コンサート ⑥	11/1 ⑥	2 ⑥	3 文化の日
	4	5 ⑦	6 ⑦	7 ⑦	8 ⑦	9 ⑦	10 (センター試験) プレ共通テスト
	11	12 ⑧	13 ⑧	14 金曜日授業 *⑧	15 休講 (入試)	16 休講 (院入試)	17 休講 (入試業務)
	18	19 ⑨	20 金曜日授業 *⑨	21 ⑨	22 ⑨	23 勤労感謝の日	24 ⑤
12月	25	26 ⑩	27 ⑩	28 ⑩	29 ⑩	30 ⑩	12/1 ⑥
	2	3 ⑪	4 ⑪	5 ⑪	6 ⑪	7 ⑪	8 学園の日
	9	10 ⑫	11 ⑫	12 ⑫	13 ⑫	14 ⑫	15 (入試)
	16	17 ⑬	18 ⑬	19 ⑬	20 ⑬	21 ⑬	22 学内クリスマス会
	23 天皇誕生日	24 平常授業 (振替休日) ⑭	25 代休(12/24) クリスマス	26 冬季休業	27	28	29
1月	30	31 1/1 元日	2	3	4	5	6
	6	7 開講 ⑬	8 ⑬	9 ⑬	10 ⑬	11 ⑬	12 ⑦
	13	14 成人の日	15 ⑭	16 ⑭	17 ⑭	18 ⑭	19 休講 (センター試験準備)
	20 (センター試験)	21 ⑮	22 ⑮	23 ⑮	24 ⑮	25 ⑮	26 補講日
2月	27	28 ⑯	29 ⑯	30 単位認定試験	31 単位認定試験 修士論文締切 (入試)	2/1 単位認定試験 (入試業務)	2 単位認定試験 (入試業務)
	3	4 単位認定試験	5 単位認定試験	6	7	8	9
	10	11 建国記念の日	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
3月	24	25	26	27	28	3/1 (卒業・修了判定会)	2
	3	4 (入試)	5 (院入試)	6	7	8	9
	10	11 (入試)	12	13	14 特別セミナー 卒業式・修了式予行演習	15 卒業式・修了式	16
	17	18	19	20	21 春分の日	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
4月	31	4/1	2	3	4	5	6

※7/16：第1回ミニキャンパス見学会

◎授業時間

時 限	I	II	III	IV	V
時 間	9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50

(4) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準(必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)

学修の成果に係る評価基準(平成30年5月1日現在)

各科目の評価は、担当教員がシラバスに明示した評価方法により行われる。評価は秀・優・良・可・不可の評語をもって表し、秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)を合格とする。

シラバス検索 (学部・大学院共通)	https://lcb.k-junshin.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearchDirect.do?nologin=on
----------------------	---

修了の認定に当たっての基準(平成30年5月1日現在)

人間科学研究科 心理臨床学専攻(平成30年度入学生)

修了要件は、修士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得すると共に、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。修士論文の審査及び最終試験は研究科委員会において審査委員会を設けて行い、その可否は研究科委員会の議を経て学長が決定する。

修了要件単位数(最低修得単位数): 30単位以上
専門領域: 12単位以上(必修12単位を含む)
課題研究: 14単位
特別研究: 4単位

取得可能学位(平成30年5月1日現在)

学位の名称
修士(心理臨床学)

(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

学生の修学に係る支援(平成30年5月1日現在)

学校法人鹿児島純心女子学園姉妹在籍による授業料給付

対象は鹿児島純心女子学園の設置する大学院・大学・短期大学・高等学校・中学校に同時に在籍する姉妹が3名となった場合の最年少者1名で、必要書類による申請に基づいて決定する。給付額は最年少者1名の授業料で、給付の実施方法は原則として納入金より授業料相当額を差し引くこととする。

進路選択に係る支援(平成30年5月1日現在)

進路支援委員会、担任(アドバイザー)、進路支援課では学生一人ひとりが能力、適性、意欲などを最大限に発揮できる職業、職場などを自ら選択し、決定していけるように適切な資料や情報の提供を行っている。大学院では進路支援委員の教員を通じて求人情報を提供し、院生研究室に面した掲示板に求人票スペースを設けている。

心身の健康等に係る支援(平成30年5月1日現在)

保健室では健康管理に役立つ情報を提供すると共に、常駐の職員が心身の健康等に関する相談に対応する。

また、学生相談室では様々な悩みや不安に関する相談(メールによる相談も可能)に学生相談員が対応し、必要に応じて専門家を紹介する。

(6) 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報(主要科目の特長、科目ごとの目標等)

主要科目の特長(平成30年5月1日現在)

教育分野に関する理論と支援の展開(心理臨床学専攻1年・前期)

教育現場では、いじめ、不登校、発達障害、危機介入など多種多様な問題があり、それらへの支援の

ニーズに柔軟に対応することが求められている。実践の様子を知り事例を検討することで、スクールカウンセラー等の教育現場で求められる資質について理解し、現在の自分との対比の中で足りないものについて考え、様々な相談に対応できる知識及び技術を身につけることをねらいとする。

科目ごとの目標等（平成 30 年 5 月 1 日現在）

各科目の到達目標等はシラバスに明示しており、学内外から参照可能である。

シラバス検索 (学部・大学院共通)

https://lcb.k-junshin.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearchDirect.do?nologin=on

財務情報

事業・財務報告（平成30年3月31日現在）

財務情報（学部等を含む事業報告書）は学校法人鹿児島純心女子学園ホームページ（学園概要ページ最下段）で公表しており、学内外から参照可能である。

学園ホームページ （学園概要ページ）	https://www.k-junshin.ac.jp/gakuen/about/index.html#jigyozaimu
-----------------------	---

教育研究上の情報

① 教員一人当たり学生数（平成30年5月1日現在）

在籍者数	専任教員数	教員一人当たり学生数
14	11	1.3

② 収容定員充足率（平成30年5月1日現在）

収容定員充足率……在学者が収容定員に占める割合

収容定員	在学者数	収容定員充足率
20	14	70.0%

③ 年齢別教員数（平成30年5月1日現在）

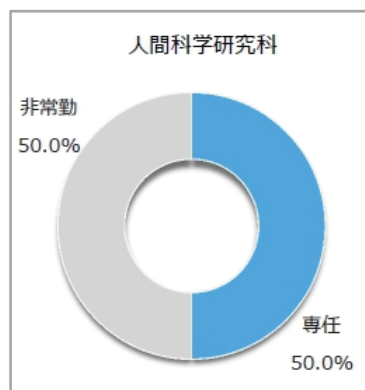
20代	30代	40代	50代	60代	70代
0	1	3	3	4	0

④ 職階別教員数（平成30年5月1日現在）

教授	准教授	講師	助教	助手
6	2	3	0	0

⑤ 専任教員と非常勤教員の比率（平成30年5月1日現在）

専任教員数	非常勤教員数	計
11	11	22



⑥ 学位授与数（平成30年3月31日現在）

学位授与数……平成29年度に学位を授与された修了者数

学位授与数
4

⑦ 就職先の情報（平成30年5月1日現在）

平成29年度修了生の主な就職先
精神科病院、こども発達サポートセンター、放課後等デイサービス 等

⑧ 入学者推移（平成 30 年 5 月 1 日現在）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
7	4	6

⑨ 退学・除籍者数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

退学・除籍者……平成 29 年度における中途退学者及び除籍者
該当なし

⑩ 中退率（平成 30 年 3 月 31 日現在）

中退率……平成 29 年度における在籍者数（5 月 1 日現在）に占める中途退学者数の割合

在学者数	退学者数	中退率
12	0	0.0%

⑪ 留年者数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

留年者……休学、復学及び成績不振等により留年した者（学則第 37 条）
該当なし

⑫ 社会人学生数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

社会人学生……正規課程に在籍する者で、平成 30 年 4 月 1 日現在、25 歳以上の者（平成 5 年 4 月 1 日以前に生まれた者）

社会人学生数
2

⑬ 留学生数及び海外派遣学生数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

該当なし

⑭ 海外の協定相手校（平成 30 年 5 月 1 日現在）

該当なし

⑮ 社会貢献活動（平成 30 年 3 月 31 日現在）

大学院関連の公開講座（平成 29 年度実績）

名称	日程	対象	受講者数
大学院主催公開講座 【シンポジウム】 「みんなで支える精神医療 ～純大大学院と地域との協働～」	10 月 28 日	一般	18
心理臨床相談センター主催公開講座 「発達障害のみたて ～協働的アセスメント～」	10 月 29 日	教師、養護教諭、保育士、保健師、臨床 心理士等の心理援助専門職の方、心理 学専攻等の大学院生 (守秘義務を遵守できる方)	45
心理臨床相談センター主催公開講座 「ロールシャッハ法による面接 ～様々な文脈から精神病理を読む～」	2 月 25 日	教師、養護教諭、保育士、保健師、臨床 心理士等の心理援助専門職の方、心理 学専攻等の大学院生 (守秘義務を遵守できる方)	35

⑩ 大学間連携（平成 30 年 3 月 31 日現在）

連携事業	連携先	平成 29 年度の主な連携内容
大学間連携協定	長崎純心大学	協定に基づき、8 月 29 日及び 30 日に第 3 回の合同 SD 研修会（職員及び学部の専任教員を含む）を本学において実施

⑪ 産官学連携（平成 30 年 3 月 31 日現在）

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による「科学研究費助成事業」に採択された研究課題の内、平成 29 年度に研究活動が行われたものは次のとおりである。

※大学院の専任教員のみ抜粋

研究課題	代表研究者
トラウマ(PTSD,CIS 等)が発達障害に及ぼす影響に関する臨床心理学的研究 https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-17K04480/	餅原 尚子